

これからのまちづくり ～弥生が丘の多世代・地域交流～

まちづくり協議会会長 山口誠一



まちづくり協議会は、人と人とのつながりが弱まりつつある中で、防災・防犯、子ども高齢者の見守り、地域の交流や賑わいづくりなど地域に根ざした活動を行っている自治会や弥生会、ふれあい委員会、PTA など様々な団体が連携して取り組む組織です。

今年度はコミュニケーションの輪を地域の隅々まで広げ、弥生が丘に住む世代を超えた住民同士の絆を強めたいとの思いから、夢ひろばでの「モルック大会」を始め、古き良き伝統行事である「餅つき」「とんど焼き」や、だれでも楽しめる「コミュニケーション麻雀」などを実施しました。

いずれも多世代・地域交流の良い機会でしたので今後も引き続き実施したいと思います。

～フラワータウンセンター地区の機能について～

フロア88が2月末で閉店し解体撤去することから、「あとの商業施設はどうなるのか？」と心配していましたが、イオンリテール(株)が新たに商業施設を整備することになり、三田市は当初改修工事の予定をしていた市民センターの機能を新商業施設の中に移転出来るようイオンリテールに協議を申し入れしました。

2月8日と15日にはフラワータウン住民を対象に市長による意見交換会が開催されました。出席者から具体的な規模や内容、スケジュールなど多くの質問や要望が出されましたが、決まっていないことがほとんどでした。住民にとって大変大きい関心事でありますので、市に情報提供をお願いするとともに、今後注視していきたいと思います。



～多世代交流～

モルック大会 大いに盛り上がりました！ ～10月13日(日)～



昨年度は児童、保護者、高齢者で構成した 3 人一組の16チームが参加しトーナメント方式で行いました。モルックは初めてという方も多かったのですが、結構盛り上がっていました。「面白かったけど1試合だけだった」「チーム構成が3世代となっていたので、申し込みしにくかった」などの声もありましたので今年度はまち協のメイン事業として、チーム数を30に増やし、少なくとも 2 試合はできるように組み合わせを考えました。

また、高齢者だけ、子どもたちだけでも OK としたことで、弥生会チームや囲碁クラブなどコミセンでのサークル仲間のチーム、小学生だけ、高校生を含むチームなど多彩なチーム構成になりました。上位16チームによる決勝トーナメントになると、皆さん腕も上がり白熱したゲームの連続でした。高齢者の皆さんと子どもたちが「あのピンをねらって」「よっしゃー！」などとお互いに声をかけあい多世代交流があちらこちらでなされていました。

たのしかったな！ もちつき大会 ～12月8日(日)～

地域の皆さんからの要望があり、もちつき大会を復活しました。久しぶりなので経験者に集ってもらい、器材の確認、材料の調達、人材の依頼等々を行いました。

ぺったん、ぽったん！ あつつ、よいしょ！ パクパク、モグモグと色々な音が響き、あっという間に30キロのもちを完食しました。スタッフにとっては、かなり手のかかるイベントでしたが、子どもたちの楽しそうな姿を目の当たりにして、疲れも吹っ飛びました。



～ 地域交流 ～

楽しいですよ。コミュニケーション麻雀！



今年度、地域交流の活性化を目指し、まち協でコミュニケーション麻雀のセットを購入しました。「コミュニケーション麻雀」はまだまだ認知度も低く「麻雀は知らないから」と敬遠される方も多いようですが、ルールはいたって簡単で、初めての方にも楽しんでいただいています。

7月の「ふれあいの集い」、10月の「弥生フェス」そして1月の「いきいき百歳体操」で行いました。「いきいき百歳体操」では25名ほどの参加があり、ルール説明のときには「わからへんわー」とぼやいておられた方も熱中しておられました。「はいどぞ」「ありがとう！」「なかなかリーチかからへんわ」「もっといい牌をちょうだい」「それあたり！」などの言葉が飛び交い、アツという間の1時間でした。その後、2月25日(火)のふれあい喫茶でも楽しみ、3月25日(火)にも予定しています。

今後の実施については事前にお知らせしますので、お一人でも多くの参加をお待ちしています。

～ 自治会からの報告 ～

今期の活動を振り返って

自治会副会長 山口 義武



弥生が丘地区の皆様、日頃より弥生が丘自治会(以下自治会)にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。令和6年度の事業も無事に終えることができました。

自治会のスローガンは「だれもが住み慣れた地域で安心して、生きがいをもって生活できるまち弥生が丘」です。

そのため、敬老祝賀会の開催、災害の備えとして防災訓練の実施、人権意識向上のための人権講演会の開催、弥生ふるさと夏まつりによる地域の活性化、こども会の充実、ラジオ体操などの健康事業、清潔なまちづくりのためクリーンデーの参加、ごみステーションの維持・管理など多岐にわたり見える箇所、見えない箇所での活動を積極的に行い地域貢献しております。

少子高齢化が進み、ご近所同士の「互助、共助」が必要な環境となってきた今、自治会組織はますます私たちにとって必要な団体となります。弥生の住民で自治会未加入の方もぜひ会員となっただき、これからの弥生地区の素晴らしいまちづくりに参加してください。



お口の健康講座 お口元気で、オーラルフレイル予防 ～1月26日(日)～

健康推進部



吉原歯科医院の歯科衛生士である清水佳世子先生に、わかりやすい説明で口腔ケアの大切さと具体的な方法を教えていただきました。口の衰え(オーラルフレイル)は、体の衰え(フレイル)につながることを、フレイルになる前に元に戻す口のケアが大切なことを参加者(34名)は、うなずきながら聞いていました。『吹き戻し』で長い息を出す練習、音楽に合わせた口の体操等楽しく笑顔いっぱいの会場でした。講演の後、参加者から質問もたくさん出た。「お口のケアがんばりましょう」「続けることが大切」と声を掛け合って帰りました。改めて話を聞いたり、実際に口を動かしたりすることで、新しい発見があり、これからの意欲向上につながる講座になりました。さあ、今日からは楽しみながらすることがありますよ！

クリーンデー実施(道路側溝の泥上げ) ～2月9日(日)～

生活環境部

令和6年度最後のクリーンデーを実施しました。毎年2月のクリーンデーは3・4丁目児童公園沿いの道路側溝会所の泥上げを行っています。従来は近くの住民有志の皆さんの協力で実施していましたが、今回はジブラルタ生命とダイナム(パチンコ店)の若手従業員合わせて22名がお手伝いに来てくれ、作業が随分とはかどり大変助かりました。回収された土のう袋＝約80袋

ちなみにジブラルタ生命は、毎年実施している2・3丁目児童公園の除草作業に数年前からお手伝いに来ていただいています。ダイナムは現在、社協やコープ三田西店を通じて、市内の子ども食堂に食材の提供をされています。



令和6年度防災研修実施～2月15日(土)～

防災部



参加者一行31名は大型バス1台でコミセンを出発。午前中、神戸市にある「人と防災未来センター」で講師の防災講義の後、実際に発生した地震災害の映像の視聴やパネル展示を見学。午後は三木市にある「兵庫県広域防災センター」で煙道体験と起震車で震度7の揺れの体験をしました。

起震車/震度7

地震に対する心掛けとして、まずは**自助**(自分の身は自分で守る→水や食料の備蓄家具の固定等)、次に**近助**(近隣同士の助け合い)の大切さに気づいた一日でした。

ちなみに阪神淡路大震災で被災された約35,000人の内、近隣住民によって救出された方は、実に27,000人(77%)にのぼります。公的機関に救出された方はわずか8,000人(23%)です(内閣府の公式データ)。

この事からも災害発生時、初期の近隣同士の助け合いの重要さがわかります。普段よりお隣さんとのお付き合いを心がけて下さい-----



～ 関係団体からの報告 ～

皆さんも一緒に楽しい生活を送りませんか？

老人クラブ弥生会

令和6年度も地域の高齢者の皆様の生きがいと健康づくりのための様々な活動を行いました。

【主な活動】・シルバーサロン会・弥生デー(ニュースポーツ、スマホ教室、脳トレ、詐欺防犯講習会等)

・日帰り研修バス旅行・グランドゴルフ・ゴルフコンペ・うたごえ広場・カラオケ・卓球

・弥生小児童の下校時見守り・弥生小、やよい幼稚園との交流(むかし遊び、正月遊び)

■現在会員数は、約120名です。

会員申し込み案内は弥生コミセン(079-562-0434)に置いています。

□弥生が丘自治会公式HP内の弥生会のページに

詳しい活動内容を掲載しています。ご覧下さい。



2・3丁目児童公園、草刈り等作業ですっきり！

ほっと841



機械による草刈り作業や低木の剪定作業をクリーンデー前に合わせ5月・6月・8月・11月に4回実施しました。

これは市が管理する公園等を市と地域団体とが協働して維持管理を行ない、良好な都市環境と健全な街づくりに資することを目的とした活動です。なお、4丁目児童公園は市との協定により斜面での危険を伴う作業があるため実施していません。

来年度も実施日をお知らせしますので、多くの方の参加をお願いします。草や落ち葉の収集等誰にでもできることがたくさんあります、都合の良い時間だけで十分です。地域の皆さんの力をお貸しください。

自治会支援隊 ほっと841募集中！

お問い合わせ・登録はコミセンまで！

*自治会行事(夏祭り・防災訓練・子ども会)

*草刈り(2・3丁目の児童公園)など

～ふれあい・見守り～

1年をふりかえって

ふれあい委員会

2024年も「ふれあいとつながりの場」づくりを大切に、弥生コミセンで毎月第4火曜日の「ふれあい喫茶」と、年4回の「ふれあいの集い」を開催しました。

フラワータウン市民センターでは他団体や他校区との共催イベントを開催しました。また10月には2年ぶりに「ふれあいの集いバス旅行」を実施し89名の皆さんと神戸港、六甲山を楽しみました。

2025年も前年に増して、地域の皆さんの笑顔を増やすことが出来るように委員会スタッフ一同努力してまいります。



民生委員・児童委員 とは？

弥生校区代表 森山哲郎

民生委員・児童委員(以下、民生委員)は、地域の福祉役として担当地域を受け持つ委員が、福祉に関する相談や様々な福祉サービスの情報提供を行っています。また、生活上の心配事や困りごとなどの相談については、関連機関(市福祉関連課、社会福祉協議会、包括支援センター)への橋渡しを行い、それらの機関と連携しながら問題の解消に努めています。主な活動は、児童および高齢者の見守りです。

特に、高齢者のお一人暮らしや高齢者所帯の皆さんの見守りを定期的に行い、併せて年1度の要援護高齢者調査も実施しています。その他、社会福祉協議会の支援により年末にカレンダーを一部の高齢者の方への配布、またふれあい委員会の支援によって友愛訪問(お菓子持参)も行っています。

民生委員は、地域の皆さんの身近な相談相手・見守り役であり、民生委員には法による守秘義務が課せられていますので安心して民生委員にご相談ください。

本年は民生委員の改選(任期1期3年、75歳定年)の年度であり、欠員が出ないように皆さんのご協力をお願いいたします。



生活上の困りごとありませんか？

ハートやよい

「ハートやよい」は「みんなで支える地域 みんなで育てる地域」「かゆいところに手が届く」を掲げ、**高齢者の見守りを基本に活動**をスタートして本年で8年目になります。その活動内容は、弥生が丘在住の高齢者の方への生活上の困りごとの支援(ごみ出し、電球や蛍光灯交換、庭の草引き、買い物代行、散歩の付添、その他相談により色々)を行っています。



なお、支援時には**利用料金を頂いています**。昨年は、15名の方から支援依頼があり皆さんからは「ありがとう」「助かりました」などのお言葉を頂き喜ばれています。活動者(サポーター)は弥生が丘の皆さんで構成(現在25名登録)しています。2か月毎の活動報告会(年に1度は昼食を兼ねて)を行い楽しく活動しています。サポーターも募集しておりますので連絡お待ちしております。連絡先は弥生が丘コミュニティセンター(079-562-0434)

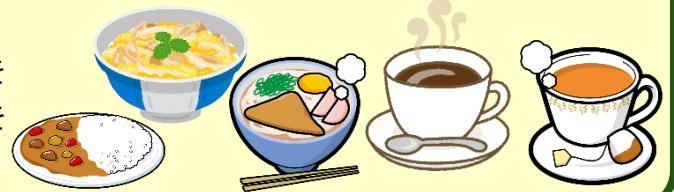
楽しいひと時を

カフェやよい

「カフェやよい」は、平成26年から弥生が丘コミュニティセンター内で営業を開始し、コロナ禍があったものの本年で12年目を迎えました。営業日は毎月第1と第3の火曜日、営業時間はお昼時の10時~13時(ラストオーダー12時30分)です。弥生地域や地域外の皆さんが軽食(うどん・カレーライス・丼物、各¥250)を食べながら歓談し、集いの場としてご利用頂いています。美味しい飲み物(コーヒー・紅茶、各¥100 お代わり自由、お茶菓子付き)を用意しています。



お友達とお誘い合わせ頂き楽しいひと時を過ごしてみませんか？スタッフ一同ご来店をお待ちしております。



赤ちょうちんオアシス

オアシスやよい実行委員会



毎度ありがとうございます。弥生コミセン入り口の赤ちょうちんが目印の弥生居酒屋「オアシスやよい」でございます。**毎月第3土曜日、17時**から開店しており中年から高齢者、女性など幅広く御来店いただいております。地域の出来事やゴルフ、病気の話などで盛り上がっています。



100円の入場料とお酒と肴は各自好きなものの持ち込みが原則ですが缶ビール(250円)の販売もしております。期間限定で生ビールと小鉢がついて500円の「一杯セット」や「おでん」も提供しています。



弥生まちづくり協議会への、ご意見・ご提案をお待ちしています

連絡先: 弥生が丘コミュニティセンター ☎669-1546 弥生が丘2丁目21

☎/Fax: 079-562-0434 mail: ya54278@xa3.so-net.ne.jp

公式ホームページ閲覧方法 = 【弥生まちづくり協議会】で検索

